

EBPA 日本メンバーニュース

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-4-8-301 電話 03-3459-0898 ファックス 03-3459-0897

2006年春期 アメリカ住宅建材インフォメーションセンター 出展報告

第12回「建築・建材展2006」

(東京ビッグサイト・東5～6ホール)
3月7日から4日間の会期で開催され、出展社数は283社・出展小間数590小間と過去最大の規模となり、賑わいを見せた。



当振興会出展ブース外観

今回は会員企業 Cascade Components, Hurd Window, 山宗製陶、ヤスダプロモーション各社と共にアメリカ建材コーナーを構成し来場者に対応した。当振興会は「アメリカン住宅建材インフォメーションセンター」の出展名称で参加。今回は、デザイン性に優れたアメリカの住宅建材に改めて関心を持った来場者が目立ち、用意した500セットの資料は全て配布され盛況だった。

総合展示会「街づくり・流通ルネサンス」全体への来場者は過去最高の260,358人で過去最大の規模となった。

第25回「西日本トータルリビングショー2006」(西日本総合展示場)

今回は出展社数138社・団体、来場者数27000を数え4日間にわたり開催、当振興会は在福岡米国領事館、キャストケードコンポーネント社と共に米国住宅建材コーナーに出展。新たな商材とビジネスチャンス

を求め建築会社、住宅会社、工務店、設計デザイン関連企業の来場が目立った。

当振興会への来場者の中には、昨年11月に独立輸入住宅事業を起業した工務店が訪れ、資材調達の大半を米国から輸入建材とするため、情報収集と取引先の確保に向けEBPA日本会員として即決で入会されるなど、資料請求も含め文字通り建設的な意欲が見て取れた。また、入会した九州地区においては新たな切り口として、設計・デザインを重視した住宅事業として輸入住宅やリフォーム事業に輸入建材を積極的に利用しようとする機運の高まりが感じられた。



アメリカ住宅建材出展コーナー

目次

建築建材展 出展報告	1
トータルリビングショー出展報告	1
アメリカ住宅建材セミナー報告	2
同写真報告・講演企業紹介(2)	3
夏季住宅視察ツアー案内	4
グリーンビルディング研修視察概要報告	5
「見直そう日本の家づくり」	5
省エネ性能表示・PSE 表示の現状	6
輸入建材事業者連絡会の設立	7
EBPA 新会員紹介(米国/日本)	8
EBPA 日本会員募集案内	9
イベント日程案内	10

2006年春季 アメリカ住宅建材セミナーレポート <5月15日～19日：秋田・山形・さいたま・前橋・横浜>

5月15日から19日の5日間にわたり上記5都市で連続開催された恒例のセミナーは米国の住宅建材メーカー・輸出業者、及び日本の代理店企業など計8社によるプレゼンテーションに開催地域より合計141名の建築業界関係者が参加、質疑応答やミニ展示会での商談、及び情報交換が活発に行われた。

今回セミナーと共に開催されたミニ展示会において参加者から業況、及びセミナー参加動機等につき伺った。印象的だったのは永く続いている厳しい住宅市場環境に加え、昨年度重なった建築業界の不祥事により信頼を失い低迷感の強い業界にも係わらず、参加企業のご担当者に海外建材を積極的に採用し、新しい住宅建築のテーマに取り組もうとする積極的な意欲と前向きな姿勢が感じられたことである。以下アンケート主要回答からも具体的な取組意識が見られ、プレゼン参加者にもかなり具体的且突っ込んだ質問が出るなど、米国建材

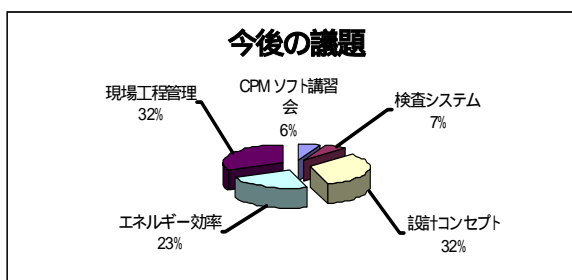
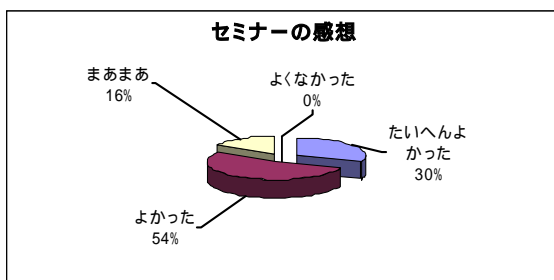
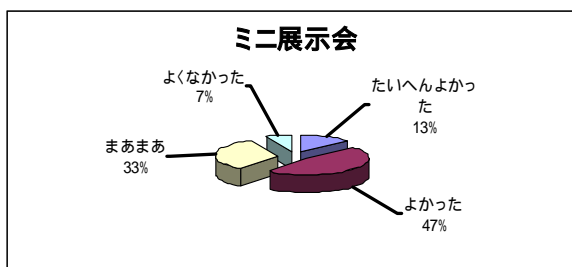
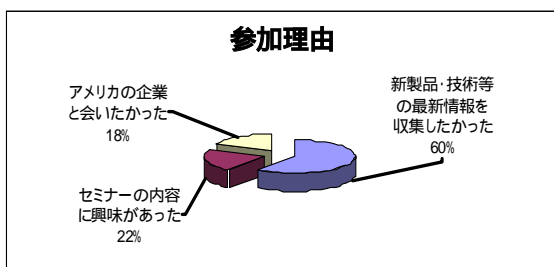


マーク・カルフーンEBPA理事兼一専長開会挨拶

への期待と、セミナーに対する概ね高い評価を頂いた。一方現場の声を踏まえた講演内容や、具体的な施工技術を知りたいとの根強い要望があり、今後米国での施工技術研修セミナーの開催ニーズも出てきているとの印象を得た。

- ・ アメリカの事情がよくわかり、この先商売に役立つヒントがいくつかあった。(横浜)
- ・ 在来の人から日本の話題で日本人が知らないことを聞き、ショックを受けた。(横浜)
- ・ 実際の施工に基づいた話が聞けた事が良かった。(横浜)
- ・ 輸入住宅の考え方、今後の工事監理のありかたを含めてよく学ぶことができました。(さいたま)
- ・ 話の内容が駆け足となっていた為、具体性に欠けた。(さいたま)
- ・ デザインの重要性は確かにあるかと思いますが、日本の住宅事情の変化でこの点が価値を生むように変化するのでしょうか、適材適所ということがあるが、湿気の多い日本にも十分役立つ建材なのでしょうか。(前橋)
- ・ 施工方法などじっくり聞きたかった。(山形)
- ・ CM方式についてもっとお話が聞きたかったです。恒久住宅を目指していこうと思います。(秋田)

(全会場参加者アンケートから)



2006年春季 アメリカ住宅建材セミナーレポート(2)

PHOTOGRAPHIC REPORT (セミナー・ミニ展示会)



秋田会場ミニ展示会



秋田会場 基調講演

主催: 米国ワシントン州政府通商経済開発局

共催: エバグリーン建築資材貿易振興会 (EBPA)
 アメリカ針葉樹輸出協会 (SEC)、在大阪・神戸米
 国総領事館商務部、在札幌米国総領事館商務
 部、財団法人横浜産業振興公社 (横浜)、ジェトロ
 横浜貿易情報センター (横浜)、輸入住宅産業協
 議会 (IHIO)

後援: 日本貿易振興機構、秋田市、秋田商工会議
 所、(社)秋田県貿易促進協会、山形県、山形市、山形
 商工会議所、群馬県、さいたま市、さいたま商工会議
 所、川越商工会議所、ジェトロ埼玉情報デスク、前橋
 市、前橋商工会議所、神奈川県、横浜市、横浜商工会
 議所、社団法人神奈川県産業貿易振興協会



山形会場 参加企業講演

講演テーマと講演企業の紹介

「輸入材を活用する現場のコツ」

- **バックリム・ビルディング・サプライ** (ワシントン州・建材輸出業)

「モールディング装飾でインテリアに高級感を」

- **立共インターナショナル株式会社** (ワシントン州・建材輸出業<本社:京都府>)

「高耐久樹脂サイディング市場の展望」

- **オーウェンス・コーニング・ジャパン株式会社** (オハイオ州・建材製造業)

「美的耐久性に優れたアメリカ製の屋根・雨樋システムの紹介」

- **株式会社ディートレーディング** (東京都・米国建材輸入施工販売業)

「恒久住宅の実現を目指して」

- **キャスケード・コンポーネンツ・インク** (ワシントン州・建材輸出業)

「資産価値と生産性向上の為のソフトプランとプランブック」

- **シンコーコーポレーション株式会社** (東京都・米国建築CAD販売業)

「スタンプ工法によるリフォーム・リノベーション・コンバージョンの可能性」

- **セメントワークス株式会社** (東京都・特殊セメント装飾開発施工販売業)

「アメリカにおける窓の変遷」

- **丸紅建材株式会社** (東京都・建材輸入販売業)

2006年エバグリーン夏季住宅視察ツアー



**ストリート・オブ・ドリームス
住宅展示会 開催期間**

シアトル 7月15日 8月20日
ポートランド 7月29日 8月27日

の期間中2日間のプログラム

**注文戸建住宅の視察
現地資材調達などが可能**

お申込・問い合わせ：

**エバグリーン
建築資材貿易振興会**
代表：森田 寛

〒105-0001
東京都港区虎ノ門5-4-8-301
Tel: 03-3459-0898
Fax: 03-3459-0897

E-mail: ebpaJapan@ep.org
URL: <http://www.ep.org>

**シアトル: 7/24・25 または ポートランド: 8月の2日間
現地ツアー参加料(現地集合): 37,500 円**

上記日程は、最少催行人数12人未満の場合8月にシアトル、又はポートランドのいずれかで開催されているストリート・オブ・ドリームスに延期・変更し、お申込みの各位には別途ご案内いたします。 予めご了承ください。

左記費用内訳：
ツアー中の
・通訳・資料代
・昼食・レセプション
・飲食代
・バス交通費
・上記以外は別途
手配可

ストリート オブ ドリームス

住宅6棟を展示(販売価格約1億5千万円～2億7千万円)。最新の米国住宅を知るうえで外せない。ビルダーを交え、アメリカの最新デザイン、インテリア、建材、間取り、ランドスケピングを見学。視察後、EBPA米国会員とのレセプション&ミニ展示会でネットワーク作り。

戸建注文住宅

ベテラン建築家・ビルダーによる戸建住宅の見学案内。実際の物件を見学しながら、Q&Aを交え、アメリカ住宅の考え方や建築時のコンセプト、アイデアなどの奥深い部分までを説明してもらえる希少なチャンス。もちろん2日間とも日本語通訳付きなので安心。

その他、お申込方法やパッケージ旅行料金、キャンセル料等の詳細については、上記までお問合わせ下さい。



Dodd Ranch, at Allen Lake
July 15 -August 20,2006

Hidden Lake Estates, Clackamas County

**STREET of DREAMS
PORTLAND
July 29 - August 27, 2006**



グリーンビルド研修視察ツアー概要報告書

当該ツアーはアメリカ大使館、在大阪・神戸アメリカ総領事館商務部主催によるもので、去る6月5日発、10日帰国の旅程で3日間の研修視察ツアーを実施し、当振興会はワシントン州政府の後援を得て、シアトルにおける研修視察プログラムを担当。参加各位は、住宅建築会社、輸入住宅会社、工務店、設計事務所、異業種メーカーなど総数25名の規模になり、関心の高まりが感じられた研修になった。主な研修視察内容は以下。

- ・住宅、商業施設におけるサステナブル設計建築セミナー
- ・「Build Green」建築による公共施設・共同住宅物件視察
- ・戸建完成住宅、建築現場の視察、現場研修
- ・グリーン・ビルディング建材、FSC認証木質建材視察
- ・現地建材輸出企業、ビルダーとの懇談会

(写真は上から現場視察、セミナー講演の様子です)

参加各位からは、今後の住宅市場のトレンドをさぐる上で大変有意義だったとの評価を頂いたと同時に今後更に掘り下げた内容の要望も多く出された。詳細は来る10月に発行予定の「住宅産業情報」にて報告予定です。



改築家の提言「見直そうニッポンの家づくり」

寄稿：石川 克彦

構造計算書の偽装問題で見られるような「ヒト・モノ・カネ」の優先順位を間違えた建築人と同様に自分もなってしまうのではないかと不安を感じています。建築は今机上から作り上げて成り立つものになってきている気がする。しかし改築・リモデリングは多くの現場を踏み、基本を理解した上で応用し、それをまた現場へ反映させることが重要です。そのためには、現状把握できる建物調査資格者の育成と活用を、制度として運営して行くことが急務だと思います。

高度成長のなかで、日本は経済効率を優先し発展してきました。いま格差の増大が問題視されていますが、本当の「心の豊かさ」には程遠く思えてなりません。国の住宅政策の是正が最も重要なこととして、より一層求められてくるのではないのでしょうか。

米国では、住宅を持つと資産家になります。だから、家を大切に使う。家族でリフォームし、数年後にはもっとよい価格で転売できるよう手入れします。そして、転売した住宅の資金を元に、さらに大きな住宅を購入したり、グレードアップしたりしています。

京都議定書の枠組みへの参加には否定的な対応も示した米国ですが、住環境に関しては「グリーンビルド」や「リモデリング」を行い、日本よりバランスがよいような気がします。それは、工業化住宅政策が失敗に終わり、市場が地元のビルダーやデザイナーらの力で支えられているからだとも思えるのです。

国民の住宅＝国民の資産という考え方に立ち、家の価値を永く持続させてゆく仕組みが必要です。30年経過すると資産価値がゼロになるような家づくりを改めなければならないと思います。

大量販売によりスクラップアンドビルド、使い捨て消費を奨励しながら、いくらエコロジー重視を口にしても、本当に環境のことを考えているとは思えません。

地道に活動する工務店や、建築士こそがプロだと思います。営業力やコミュニケーション力、デザイン力を高めると共に、次世代を担う人材を育てなければならない。そう考えて日々研鑽、自問自答の毎日です。(了)

(本稿は有限会社トータル住環のホームページに記載されている石川代表のコラムから、同氏了承を得て抜粋編集し転載したものです)

寄稿者略歴

有限会社トータル住環 代表
リフォームプロデューサー
国土交通省認定 (特)建物等
調査資格者
ガーデンデザイナー

〒379-2203 群馬県伊勢崎市
赤堀町曲沢46-1

TEL : 0270-20-2620

FAX : 0270-20-2621

E-mail: jyukan@soleil.ocn.ne.jp

URL: <http://www.jyukan-net.>

「輸入窓製品」の省エネ性能表示について

本年3月に発行の当ニュースレター春号でご案内したとおり、改正省エネ法が本年4月より施行されました。今回の改正では住宅分野における省エネ対策が強化され、住宅開口部の「窓」に使用される「ガラス・サッシ」を対象に従来の製造事業者に加え、加工事業者、及び「輸入事業者」も断熱性能等の品質表示に関し経済産業大臣による指導・助言の対象に含まれています。

具体的には省エネ基準の達成に向け、消費者が断熱性能の高い複層ガラスや断熱サッシを使用した窓製品の適切な選択を促進できる「省エネ性能表示」が求められとの前提に立ち、輸入建材関連団体が共同で対応策を講じる必要があるとの判断で一致。これを受け断熱性能について先進的な北米・欧州等の輸入サッシに関し、統一見解

にて品質表示を行うべく、去る3月15日経済産業省より担当官を招聘の上、関係者45名のご参加を得て本件に関する趣旨説明・意見交換会を開催しました。

その後輸入窓取扱い事業者有志による検討会や経済産業省との意見交換等につき、その結果を都度ご関係者に電子メール等にてご案内しております。検討会への参加、及び情報配信をご希望の場合は下記までご連絡ください。(関連記事6頁参照：輸入建材事業者連絡会「IBMF」発足)

尚、経済産業省よりの性能表示方法、実務に関する具体的助言・指導は、現在関係省庁と協議中の由です。新情報を入手次第配信予定です。

エバグリーン建築資材貿易振興会(EBPA)
関連問合せ・連絡先：03-3459-0897

電気用品安全法 PSEマーク取得義務について




輸入電気製品にも適用されます！

“いつから規制される？”

電気用品安全法の改正は2001年4月1日に施行され(令附一)、同日よりすでに適用になっています。輸入品も新品・中古を問わず、PSEマークがないと販売禁止(法二十七)です。

ただし、旧電気用品取締法適合製品(いわゆる三角マーク・丸マーク・Sマーク付製品)については、製造・販売についての猶予期間が設けられていましたが、主要な電気製品については、販売の猶予期間が5年(法附五十)ですので、2006年4月1日以降にPSEマークの無い製品を販売すると違法となる、と大筋では言えます。なお、特定以外の電気用品のマークは平成7年以降廃止されています。詳細の解説は下記ホームページを参照ください。

旧法による表示と新法による表示の例

	旧法による表示の例	新法による表示の例
特定電気用品	 91-12345 定格電圧 100V 定格入力容量 13VA 定格周波数 50-60Hz 定格出力電圧 DC12V 定格2次電流 200mA 事業者名	 登録検査機関名 定格電圧 100V 定格入力容量 13VA 定格周波数 50-60Hz 定格出力電圧 DC12V 定格2次電流 200mA 事業者名
特定以外の電気用品	定格電圧 100V 定格消費電力 160/170W 定格周波数 50-60Hz 事業者名	 定格電圧 100V 定格消費電力 160/170W 定格周波数 50-60Hz 事業者名

「PSEマークのない電気製品にはご注意ください！」 http://www.gsr.jp/irs_sbiz/special/pse.htm#4

「電気用品安全法の経過措置の一部終了に伴う対策について」(経済産業省)
http://www.meti.go.jp/policy/consumer/seian/denan/keikasochi/keikasochi_q&a_new.htm

輸入建材事業者連絡会（IBMF）発足

（IBMF発起人会作成「プレス・リリース」より転載）

去る5月29日、輸入建材に係わる関係団体や個別事業者30数社が結集し、「輸入建材事業者連絡会」（略称IBMF：Imported Building Materials Forum）が設立された。（下記写真：IBMF設立会議の出席関係者）

近年、住宅の性能向上及び環境問題への対応など、消費者の居住・住宅への関心の高まりと共に、政府も住宅に関する新しい施策・制度の策定、業界への指導等、これらの問題に積極的に取り組んでいる。そのような状況下、住宅業界としても、消費者に対する十分な情報提供、及び行政政策当局に対する適時適切な提言・協力が必要との認識が高まりつつある。



ところが輸入住宅／建材業界においては、これまで各事業者独自の企業活動により「高品質な輸入建材製品」が日本市場に供給され、延いては「日本の住宅品質の向上に寄与」してきたと自負する一方、業界一丸となつての、消費者に対する情報・啓蒙活動や、行政施策への協力は不充分であるとの指摘も出始めてきた。

背景としては、政府の施策や業界への指導等において、最近の建築基準法シックハウス対策や、住宅性能表示制度に取り入れられた防犯建材への対応が、必ずしも適切でなかったとする指摘がある。また、個別輸入事業者が、行政情報まで独自に入手し、適時適切に協力・対応してゆくには限界があるという明白な事実が漸く認識され、業界を代表し行政との連絡役となる窓口の設置を期待する声が出始めていたことがある。

上記を事情を踏まえ、輸入建材事業者・関係者の幅広い結集が社会的要請であるとの判断から、日本の輸入建材団体として活動実績のある、IHIO（輸入住宅産業協議会 越智正博副会長）、EBPA（エバグリーン建築資材貿易振興会 森田寛代表）、IBMA（輸入建材協議会 松本繁副会長）、EW（ヨーロッパアンウッド 森正代アドバイザー）の4団体が発起人となり、今回のIBMF設立に至ったもの。

当面の活動は、本年4月より施行された「改正省エネ法」による住宅開口部の断熱性能の表示に係る経済産業省からの協力依頼を受けて、輸入窓の断熱性能表示について、対応を推進することになる。すでに事業者有志により表示手法の検討が進んでおり、今後IBMFにて取りまとめ、同省からの正式助言・指導を得次第、これをガイドラインとして具体的提案を行う。

また、案件毎に技術部会を設置し、所轄行政官庁との意見交換や消費者へ情報提供などの活動を展開するほか、セミナー等を通じ会員事業者相互の情報交流促進の機会も充実させる考え。

入会金は無償。当面事務経費のみ必要に応じ徴収する。同会としては、今後個人、法人を問わず輸入建材を取り扱う事業者に対し、積極的参加・協力を要請し広く入会を呼びかけていく。

お問い合わせ・入会希望者は
右記メール又はFAX宛：

東京都品川区西五反田8-2-12
輸入建材事業者連絡会(IBMF) 事務局
（NPO輸入建材協議会気付）
E-mail：info@i-dcr.net
FAX： 03 - 3492 - 5513

EBPAメンバーニュース

EBPA米国 新会員企業紹介

ラテクリート・インターナショナル

当社はタイル、及び石材仕上げ分野では先進的で恒久的な施工技術と製品を50年にわたり提供してきました。

設計段階で指名を受け、また、施工のプロからも愛顧を受けているラテクリートは、あらゆる用途に確かな対応力を示します。当社のシステム製品は、業界において高い支持を得ているだけでなく、建築基準法においても認証取得しております。

更に、強みである10年保証のもと、いつでも確かな信頼感のある施工をお約束いたします。更に詳細は下記へご照会ください。

Mr. Erno de Bruijn, Vice President
Laticrete International, Inc.
1 Laticrete Park North
Bethany, CT 06524-3423
Phone: (203) 393-0010 FAX (203) 393-1684
E-mail: edbruijn@laticrete.com
URL: <http://www.laticrete.com>



50 years
of innovation

フィボン

1974年にスタイル-マーク社として創業以来、エスピーアール、スタイル・ソリューション、と名称が変わってきましたが、2004年にウレタン加工業界でトップブランドの地位にあったファイボンを買収、30年に及ぶ経営の粋と顧客サービスとフィボンのブランド力が結婚したことになります。

当社は業界のトップとして数千種類もの最高品質、且つ維持が容易なウレタン加工製品を内外装用の需要に応え製造しています。更に詳細は下記へご照会ください。



Mr. Pat Gowins
District Sales Manager
9835 S.W. Serena Way
Tigard, OR 97224
Phone: (503) 334-5285
Fax: (503) 598-9542
E-mail: pat_gowins@sbrinc.com
URL: www.fypon.com

キャスケード・ウインドウズ

当社は高級ビニル製の窓とドアメーカーです。当社がめざすところは、高品質の製品、高いレベルのサービス、そして高い競争力を持つ価格体系です。キャスケード社は現在米国西部10州での販売の他、韓国とメキシコに輸出しています。

詳細は下記へご照会ください。

Mr. Larry Crouch
International Sales Manager
Cascade Windows
2310 N. Molter Rd., Suite 206
Liberty Lake, WA 99019
Phone: (253) 670-0295
Fax: (360) 357-3913
E-mail: lcrouch@cascadewindows.com

「アメリカ住宅産業情報」

第22号広告募集中

第22号は、10月開催「アメリカ住宅建材セミナー」や11月開催のホームショーを中心に約1万部が配布される予定です



**広告
申込期限
8月1日**
(詳細は別紙説明資料参照)

エバグリーン建築資材貿易振興会(EBPA)会員募集

日本の工務店、建築設計、その他建築業界に関係する皆様にアメリカで唯一の建築資材分野の貿易振興会である当会から会員募集のご案内です。アメリカで成長している我々のメンバーの一員になり、我々が企画するプログラムを通して、ビジネスに役立つ人脈、最新情報、専門的な建築のノウハウなどの支援サービスを利用し、新たなビジネスチャンスを開拓しませんか。



ツアー参加者記念撮影

会員の特典 入会金無料 年会費¥25,000のみ

- **商談・サービスや交流機会の提供:** 住宅・建築資材産業に関わる企業・個人を会員とする当振興会に参加することにより、国内外の同業者のネットワークを広げます。また、アメリカをベースとする建築資材製造会社、輸出業者、各種サービス供給会社、また、日本国内の輸入建材を扱う業者、2X4工法や在来工法の建築に携わる業者とのアクセスがとれます。
- **最新ニュース:**日本の会員の方には、春と秋の年2回、アメリカ住宅建材市場の現状やトレンド、会員企業の動向などが理解できる「住宅産業情報」、年4回程度のニュースレター、またEメールニュースの配信など、各種情報を送付させていただきます。
- **建材供給会社の選定と紹介:** EBPAでは日本の会員に対して、戸建住宅や商業施設に必要な窓・ドアその他の建築資材を供給するアメリカの会社の選定、ご相談、紹介などの支援業務を行っております。
- **技術セミナーと現場視察:** エバグリーンが主催するセミナーは年1回ワシントン州シアトルで行われ、住宅デザイン、設計、建築技術など最新の動向をご案内しています。
- **視察ツアー企画調整:** 個人や会社単位でアメリカの視察ツアーなどを企画されるなら、我々がお手伝いさせていただきます。EBPAではシアトル近辺の住宅産業の情報が豊富にあるため、住宅開発地区、現場視察、製造会社視察、アメリカ企業との商談などを含め充実したオリジナルツアーをご提案いたします。
- **割引の特典:** 会員の特典として、技術セミナーや当振興会で企画するプログラムへの参加費用を10-20%割引させていただきます。
- **トレードショー・展示会:** 当振興会が出展する展示会には優待価格で出展することができます。また、当会のウェブサイトにリンクさせることにより効果的な営業促進が期待できます。

お申込・問い合わせ: **エバグリーン建築資材貿易振興会** 代表: 森田 寛

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-4-8-301

Tel: 03-3459-0898 Fax: 03-3459-0897 E-mail: ebpajapan@ep.org

エバグリーン建築資材貿易振興会(EBPA)は、アメリカの住宅産業に関わる企業の輸出促進を支援する団体です。

会員は住宅メーカー、建築資材メーカー、輸出業者、設計事務所、工務店、流通業者等多岐にわたり、世界の輸出市場での事業を促進することを目的とした個人や企業で構成されている非営利民間会員組織です。

当協会は、創立後20年を経て、これまで多様な貿易促進活動を行ってきました。建築資材の製造・供給や、設計デザイン、サービス業務等を提供する、米国会員70数社と提携・情報交換し、さらにアメリカの専門家とその他住宅産業関連団体の活動やイベントを通して、日本会員企業30数社の他、国内住宅産業と技術的な情報を共有することにより、日本の工務店、建築設計事務所、輸入業者をサポートしています。

EBPAは、米国で住宅建築資材の輸出振興を事業目的とする唯一の貿易振興会です。

行事 & イベントのお知らせ

東京住宅リフォームフェア

期間: 7月1日(土) ~ 2日(日)
会場: 東京ビッグサイト
出展社数: 200社
来場者数: 約30,000人
予定小間数: 300

DIY ホームセンターショー

<http://www.diy-show.jp/>

期間: 8月24日(木) ~ 26日(土)
時間: 10:00 ~ 17:00
会場: 幕張メッセ
出展社数: 605社
来場者数: 約71,000
小間数: 1,436

住まい・建築・都市の環境展

<http://www.ecobuild.jp/>

期間: 11月22日(水) ~ 25日(土)
会場: 東京ビッグサイト
出展者数: 120社
来場者数: 15,000人

ジャパンホームショー2006

<http://www.jma.or.jp/jhbs/ja/>

期間: 11月15日 - 17日
会場: 東京ビッグサイト
出展者数: 650社
来場者数: 約100,000人
対象分野: 建築・衛生設備、空調、給排水
照明、公共施設機器、不動産
出品物: 各種建材、及び、関連製品

エバグリーン夏季住宅視察ツアー

日程: 本文4ページ参照
会場: 米国ワシントン州シアトル市 または
オレゴン州ポートランド
現地ツアー参加費: (2日間37500円)

- ・ストリート・オブ・ドリームス(SOD)
- ・米国ビルダー・建築家と行く視察ツアー
- ・マーケットセミナー・建築現場視察
- ・米国住宅建築業界とのネットワーク作り
- ・最少催行人数: 12名

(シアトル企画の募集人数が規定に満たない場合には8月に延期しポートランドSOD企画で再募集する予定です。

問合せ: **エバグリーン建築資材貿易振興会**
電話 03-3459-0898 担当 森田

秋季アメリカ住宅建材セミナー

<http://www.ep.org/2006jfallmission.htm>

日時: 10月16日(月) ~ 20日(金)
時間: 12:30 ~ 16:00
会場: 福岡、宮崎、長崎、熊本、鹿児島
参加方法:

1. 講演(10分) + ミニ展示会:
EBPA 会員: 77,000円, 一般: 88,000円
2. ミニ展示会のみ:
EBPA 会員: 60,500円 一般: 71,500円
(ミニ展示会はセミナー開催前に30分、
及び途中の休憩時に30分設けます)

申込期限: 講演・ミニ展示会をされる企業は必要事項(企業・製品情報、ロゴ、顔写真など)を御用意の上、8月23日(水)までにお申込ください。(先着順) 案内チラシを印刷する都合上、期限をお守りください。
セミナー聴講希望の方は当振興会まで御連絡下さい。 お問合わせ・お申込は下記まで。

エバグリーン建築資材貿易振興会
電話 03-3459-0898 担当 森田